

第1号様式(第10条関係)

令和 6年 4月 26日

沖縄県議会議長 殿

会 派 名 おきなわ新風

代 表 者 名 平良 昭一



令和5年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和5年度 政務活動費収支報告書

会派名 おきなわ新風

1 収 入 政務活動費 6,400,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	532,987	京都視察費(3名分)、南洋群島視察費(2名分) 沖縄県議会与党議員団県内視察費【宮古島市】、【与那国 町・石垣市】、【うるま市・沖縄市】
研 修 費		
広聴広報費		
要請陳情等 活 動 費	75,500	東京要請費
会 議 費	27,494	コーヒー、お水
資料作成費		
資料購入費	174,077	日本経済新聞購読料、沖縄タイムス購読料、琉球新報購読 料、日本農業新聞購読料、データベース利用料(ジーサー チ)、琉球新報データベース
事 務 費	847,938	事務用品代、切手代、複合機リース・カウンター利用料、電 話・FAX代、NHK受信料、PCリース代
人 件 費	4,732,389	給与、賞与(夏季、冬季)、労働保険料 健康保険・厚生年金・子ども子育て拠出金
合 計	6,390,385	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 9,615 円

沖縄県議会 501 会議室共同使用に係る協定書

会派：おきなわ南風（以下「甲」）と、上原快佐（以下「乙」）は、沖縄県議会 501 会議室を共同で使用するについて、次のとおり協定を締結する。

（納入義務者について）

第 1 条 電話・FAX、カラー複合機、新聞、NHK 受信料、職員の厚生年金保険・健康保険・労働保険等の契約者及び納入義務者を甲とする。但し、料金は甲 4/5・乙 1/5 で按分とする。

（事務用品について）

第 2 条 事務用品は原則、甲 4/5・乙 1/5 で按分とする。但し、共同で使用しないものについては使用する会派の負担とする。

（新聞購読について）

第 3 条 新聞購読料は原則、甲 4/5・乙 1/5 で按分とする。但し、共同で使用しないものについては使用する会派の負担とする。

（会議費について）

第 4 条 会議に伴うお茶代等は、甲 4/5・乙 1/5 で按分とする。

（人件費について）

第 5 条 職員の給与は原則、甲 4/5・乙 1/5 で按分とする。

第 6 条 職員に係る厚生年金保険料・健康保険料・子ども子育て拠出金・労働保険料の雇用主負担分は原則、甲 4/5・乙 1/5 で按分とする。

この協定を証するため、本書を 2 通作成して、甲乙それぞれ署名捺印の上、各自その 1 通を保有するものとする。

附則

（施行期日）

1 この協定書は、令和 4 年 10 月 1 日から施行する。

（この協定書の失効）

2 この協定は、501 会議室を共同で使用しなくなった場合は、その効力を失う。

令和 4 年 10 月 1 日

甲 住所 那覇市泉崎 1-2-3
おきなわ南風
会派長 平良 昭

乙 住所 那覇市泉崎 1-2-3
無所属 上原 快

統一様式－①

経費区分別支出一覧表

経費区分

調査研究費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
5/2	【京都視察】ホテルパック代(3名分)	207,300	全額	207,300
5/2	【京都視察】航空券代(往路:石垣⇒那覇)次呂久成崇議員分	11,890	全額	11,890
5/2	【京都視察】航空券代(復路:那覇⇒石垣)次呂久成崇議員分	11,890	全額	11,890
5/10	【京都視察】バス代(往路:伊丹⇒京都)3名分	4,020	全額	4,020
5/12	【京都視察】バス代(復路:京都⇒伊丹)3名分	4,020	全額	4,020
5/10	【京都視察】お土産代	3,240	全額	3,240
5/11	【京都視察】電車代(京都駅⇒丸太町駅)3名分	780	全額	780
5/11	【京都視察】タクシー代(京都府庁⇒京都市動物園)	1,650	全額	1,650
5/11	【京都視察】京都市動物園入場料(4名分)	3,000	全額	3,000
5/11	【京都視察】タクシー代(京都市動物園⇒ホテル)	1,400	全額	1,400
5/19	【南洋群島視察】前泊ホテル代+ホテルパック代(平良昭一)	372,560	その他	130,550
5/19	【南洋群島視察】前泊ホテル代+ホテルパック代(次呂久成崇)	372,560	その他	130,550
7/12	沖縄県議会与党議員団県内視察【宮古島市】	10,078	全額	10,078
7/12	沖縄県議会与党議員団県内視察【与那国町・石垣市】	8,023	全額	8,023
7/12	沖縄県議会与党議員団県内視察【うるま市・沖縄市】	4,596	全額	4,596
A. 小計				532,987
B. (ガソリン代総額 ー 費用弁償(交通費)総額) × 1/2				
C. 支払証明書計				
調査研究費 充当合計(A+B+C)				532,987

再発行

231999935
2023年5月2日

領 収 書

会派おきなわ南風

様

金額 ￥207,300.-

上記の金額正に領収いたしました。

※但し、ご旅行代金として

取扱番号 : 31951860

出発日 : 2023年5月10日(水)

発行所 : JAL eトラベルプラザ

備 考 : クレジットカード・其他のお支払い分を含みます

株式会社ジャルパッ

〒140-8658 東京都品川区東品川1-1-1

JALダイナミックパッケージ 050-4545-1111

(電話受付時間 09:00~18:00)

【京都視察(5/10~12)】

・ホテルパック3名分

1人あたり 69,100円 × 3人 = 207,300円

【視察参加議員】

・平良昭一 議員

・仲宗根悟 議員

・次呂久成崇 議員

※調査研究に係る費用のため、全額充当

￥207,300.-


JAPAN AIRLINES

Web a2ef2f082f002fd6da62903aaee89bc8
2023年05月02日 13:34発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

次呂久 成崇 様

金額 11,890円（税込み）

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312465034790
航空券/料金券発行日	2023年5月2日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

日本航空株式会社

ご利用旅程・運賃・料金明細

ジロク マサタカ 様

2023年5月10日（水）	運賃：離島割引
○ 09:00 石垣	クラス：普通席
○ 10:05 沖縄（那覇）	便名：JTA600

11,890 円

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 11,890円

【京都視察(5/10～12)】

・航空旅費(往路:石垣→那覇)
次呂久成崇 議員

※調査研究に係る費用のため全額充当

¥11,890-



JAPAN AIRLINES

Web bb7b202de41e97c8275f04344d1dfea7
2023年05月02日 13:18発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

次呂久 成崇 様

金額 11,890円（税込み）

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312465034518
航空券/料金券発行日	2023年5月2日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

日本航空株式会社

ご利用旅程・運賃・料金明細

シロク マサタカ 様

2023年5月12日（金）

運賃：離島割引

○ 18:15 沖縄（那覇）

クラス：普通席

11,890 円

|

便名：JTA625

○ 19:20 石垣

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 11,890円

【京都視察(5/10～12)】

・航空旅費(復路:那覇→石垣)

次呂久成崇 議員

※調査研究に係る費用のため全額充当

¥11,890-

領 収 書

おきなわ南風様

2023年05月10日

ご利用時刻 14:08
取引内容 乗車券購入
購入金額 ¥4,020

領収書番号 019400

上記金額正に領収致しました。
ご利用ありがとうございます。

ご購入明細	枚数	金額
品名 京都駅	3	4020
合計		4020

阪急観光バス株式会社
大阪空港 04

領 収 書

¥4,020-

上記金額を領収いたしました

2023年 5月12日
阪急観光バス株式会社
大阪府池田市空港1-9-10

【京都視察(5/10~12)】

・バス料金3名分(往路:伊丹→京都)
1人あたり 1,340円 × 3人 = 4,020円

・バス料金3名分(復路:京都→伊丹)
1人あたり 1,340円 × 3人 = 4,020円 合計8,040円

【視察参加議員】

- ・平良昭一 議員
- ・仲宗根悟 議員
- ・次呂久成崇 議員

※調査研究に係る費用のため、全額充当

¥8,040-

経費区分 (調査研究費)

領収書

おきなわ南風 様

¥3,246- 円

但し、商品 代として

上記の金額正に領収致しました。

日付	2023年 5月10日
伝票番号	SOU1577594
担当	

南ウイング売店
エアポートトレーディング株式会社
TEL:098-840-1473

領収書発行回数: 1回

*** 明 細 ***

商品名	単価	数量	金額
○紅芋クリームロール (※	1,620 x	2	¥3,240
◇ レジ袋	3 x	2	¥6
小計			¥3,246
(10%対象			¥6)
(8%対象			¥3,240)
消費税(内)			¥240
(消費税10%			¥0)
(消費税8%			¥240)
合 計			¥3,246
		(お買上点数	4点)

※印は軽減税率対象商品

現金 (Cash)

¥10,000

おつり 6,754

【京都視察(5/10~12)】

・お土産代(2個※2か所分)

1,620円 × 2 = 3,240円



SOU1577594

※調査研究に係る費用。レジ袋代(6円)を差し引いた金額(3,240円)を充当

¥3,240-



【京都視察(5/10～12)】

・電車代(京都駅→丸太町駅、3名分)
260円 × 3人 = 780円

※調査研究に係る費用のため全額充当

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

NO.010

車両番号 京都-330-あ-724号

2023-05-11 11:42

乗車料金

¥1,650-

消費税含む

上記の通り正に領収いたしました。



MKタクシーGroup

エムケイ株式会社

〒601-8432

京都市南区西九条東島町63-1

コールセンター 075-778-4141

(24時間) 0774-53-5489

お忘れ物は 075-555-3132(代)

支払内訳

現金

¥1,650

【京都視察(5/11~12)】

・タクシー代(京都府庁→京都市動物園)

※電車利用が不便、バス利用だとかなり歩くためタクシーを利用

※調査研究に係る費用のため、全額充当

¥1,650-

領 収 書

第 7 号	おきなわ南風 様				
No. 15					
5 年度	08 使用料及び手数料	01 使用料			
01 一般	02 文化市民使用料	04 動物園使用料			
金 額	百	千	円		
	¥	3	000		
ただし京都市動物園入園料として 上記金額を領収しました。					
①750×4名 京都市公金収納受託者 氏名 株式会社ワン・ワールド FUSJ 印 山口 豊 彦					

【京都視察(5/10～12)】

・京都市動物園入場料 4名分
 1人あたり 750円 × 4人 = 3,000円

議員3名、他同行獣医師1名

※京都市動物園は京都府の委託事業で野生鳥獣救護センターを設置。
 説明員として獣医師を同行。

※調査研究に係る費用のため全額充当

¥3,000-

調査研究費

令和5年5月12日

沖縄県議会総務課 新垣智視 殿

おきなわ南風

視察先への同行者（獣医師）の入園料を政務活動費として充当する理由について

京都市動物園は京都府の委託事業で野生鳥獣救護センターを設置し傷病野鳥を受け入れている。担当の獣医師から事業説明を聞く際に専門的な用語、対応等々を説明していただいた。

また、実際に受け入れている野鳥の分類と生態、特徴などの説明員として同行する必要がある。

そのことから、政務活動費として充当する考えに至った。

同行者：獣医師 [REDACTED]

視察先：京都市動物園内野生鳥獣救護センター

領 収 書

無線番号 238 06737

2023年05月11日

毎度ご乗車ありがとうございます。

(現金・チケット・クーポン・カード)

乗車料金 ￥1400円

運賃料金計 ￥1400円

計 1400円

コールセンター

075 (661) 6611

 都タクシー(株)

京都市南区上鳥羽薬田町27番地

075 (671) 6101

【京都視察(5/11～12)】

・タクシー代(京都市動物園→ホテル)

※電車利用が不便、バス利用だとかなり歩くためタクシーを利用
※調査研究に係る費用のため、全額充当

¥1,400-

おきなわ南風会派京都市視察日程表

■視察方面:京都府京都市

■旅行期間:5月10日(水)～5月12日(金)までの3日間

■参加人数:3名(別紙参照)

調査研究費

日次	月日(曜)	行 程	宿泊
1	5/10 (水)	○那覇空港集合 ○JAL2084便にて那覇空港発(12:00～13:55) 伊丹空港着 ○伊丹空港～京都駅(14:30～15:30) ※宿泊ホテル:ホテル京阪京都グランテ	京都市 夕×
2	5/11 (木)	○ホテルにて朝食後、京都駅へ移動(電車) ○京都府庁 2号館 農村振興課(10:00～12:00) ○京都府庁～京都市動物園へ移動(タクシー) ○京都市動物園視察(13:30～16:00) ○京都市動物園からホテルへ移動 ※宿泊ホテル:ホテル京阪京都グランテ	京都市 朝× 昼× 夕×
3	5/12 (金)	○ホテルロビー集合 ○京都駅～伊丹空港(10:30～11:30) ○JAL2087便にて伊丹空港発(14:50～17:00) 那覇空港着 ♪お疲れ様でした♪	朝×

参加者飛行機時間

調査研究費

	氏 名	那覇→伊丹 (5/10)	伊丹→那覇 (5/12)
①	タイラ 平良 昭一 ショウイチ	JAL2084便12：00発 ～13:55着	JAL2087便14：50発 ～17:00着
②	ナカソネ 仲宗根 悟	JAL2084便12：00発 ～13:55着	JAL2087便14：50発 ～17:00着
③	ジロク 次呂久 成崇 マサタカ	JAL2084便12：00発 ～13:55着	JAL2087便14：50発 ～17:00着

※宿泊先：ホテル京阪 京都グランテ

統一様式－⑧

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年 月 日	令和5年5月10日（水）～5月12日（金）			
場 所	京都府農林水産部農村振興課 京都市動物園（野生鳥獣救護センター）			
相 手 方	○京都府農林水産部農村振興課：藤井伊参事 ○京都府農林水産部農村振興課野生鳥獣係：中塚森技師 ○京都市動物園：坂本秀房園長、和田晴太郎 ○京都市動物園：生き物・学び・研究センター：伊藤英之研究教育係長			
目 的	本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要	月 日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	5月11日(月)	10時	京都府庁農林水産部 農村振興課	到着口のサーモグラフィー及び旅行者専用相談センターについて
	〃	13時30分	京都市動物園	抗原検査施設及び設備について
内 容	・マニュアル制定に至った経緯について ・鳥インフルエンザ関連の予算と職員数・職種等について ・傷病救護事業と受入れ先での対応について ・マニュアル施行後の課題について ・展示施設の鳥インフルエンザの防護法について			
成果及び所見	【成果及び所見】 別紙のとおり			
備 考	沖縄県獣医師会・野生動物保護対策委員会の土城勝彦委員長も同行			

京都視察 所感 仲宗根悟

「高病原性鳥インフルエンザ」対応について

2023 年 5 月 10 日～12 日、京都府農林水産部農村振興課及び京都市動物園へ 京都出身、石垣市在たまよせ動物病院獣医師 氏に同行して頂き、高病原性鳥インフルエンザ対応について取り組み状況を伺った。

京都府農林水産部対応者：農村振興課参事 氏、野生鳥獣係 氏

平成 16 年に日本で最初に発生したのが京都、養鶏場の経営者が感染被害を届けずに感染が拡大し、被害鳥を出荷した事件が発生。その時の被害鳥 24 万羽、当時全国に大ニュースになった。そのことを踏まえて手探り状態から取り組みが始まり、原因は渡り鳥と絞った。飛来調査が始まった。府内 47 カ所 3 月から5月初めまでの週一度、川や池などに飛来する野鳥の数を把握。被害鳥の発生にはマニュアル化しレベルに応じて対応する。

京都府独自の「高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル」を作成し、農政課と畜産課を中心に農村振興課、野生鳥獣係も加わる職員マンパワーで調査活動を行っている。委託事業にはしていない。担当部署が農水とはどういうことかの問いに、「府の畜産業を守る立場に立つ意味から農水が担当することになった」とのことである。

同様な内容の調査で京都市動物園にも伺った。対応者：京都市動物園生き物・学び・研究センター研究教育係長（獣医師） 氏

市から委託されて傷病救護事業、一時預かりのみでリハビリは受け入れていない。京都府、京都市と連携し対応している。

今回、同行して頂いた 氏が専門家の立場から意見聴取していただき、環境省との連携府や市町村の取り組み、府民への啓もう等、分かりやすかった。

石垣市で動物病院に勤務しながら野鳥の動向を観察している土城氏は、これまで見られなかった種類の渡り鳥がみられるようになった。高病原性鳥インフル発生が容易であることを懸念している。昨年 12 月うるま市で発生した事例を環境省、県、専門家による検証が必要に感じている、場当たり的な対応だと前例が生かされない」県の対応、取り組みを要望している。

京都の地道な取り組みが、蔓延を食い止める方策だと感じた。

【成果及び所見】

次呂久 成崇

○京都府農林水産部農村振興課

平成 16 年 2 月に全国初となる鳥インフルエンザが京都府内で発生し、養鶏業者が感染被害を届けなかったため感染が拡大し約 24 万羽が殺処分されるという大規模な被害があった。後に野鳥からの感染が原因と判明したため、京都府独自の「野鳥における高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル」を作成し、国内で鳥インフルエンザが確認された場合はマニュアルに基づき府内 5 区域エリアの 47 カ所を週 1 回、野鳥の飛来調査や死骸調査を実施している。

沖縄県の鳥インフル対応体制は、家禽は農林水産部で野鳥は環境部が所管と縦割り行政となっており連携体制が構築されていないが京都府庁内の鳥インフル対応体制が農政課と畜産課、農村振興課と全庁的に連携し取り組んでいる。

農林水産部署が担当となっているのは「京都府の畜産業を守る」ことが鳥インフル対応の基本方針となっており、沖縄県との違いが明らかであった。

○京都市動物園

傷病救護事業は京都府と京都市が連携し、動物園の獣医師 4 人が約 800 万の予算で実施している。一時預かりのみでリハビリは行っておらず、死亡や傷病野鳥を受け入れ時に鳥インフル検査を実施している。また、園独自でも「鳥インフルエンザ対応の手引き」を作成し、対応がマニュアル化されている。

○今回は沖縄県獣医師会で実際に石垣島で死亡・傷病野鳥を取り扱っている
獣医師も同行し、専門的立場から説明や意見聴取など対応していただいたため非常にわかりやすかった。渡り鳥が多い沖縄県でも早急に独自のマニュアル作成が必要だと痛感した。今回の調査を活用市マニュアル作成にむけ執行部と連携を図っていきたい。

おきなわ南風 平良 昭一

* 京都府農林水産部農村振興課参事

農林水産部農村振興課野生鳥獣係

京都府はなぜマニュアルを作成する事になったかの問いに、平成16年2月に京都府内で大規模の鳥インフルエンザが全国で初めて発生した。その時養鶏業者が隠してしまった事から、2カ所に広がってしまった。

のちに野鳥からの感染が判明した事から、この経験を活かし国のマニュアルに基づき府で野鳥死骸を回収する事になった。府民への周知徹底で野鳥の死骸を見つけると京都府に連絡してくる事になっている。回収は職員が対応しており住民は直接関わっていない。回収した野鳥を簡易キットで検査し、検査優先種であれば職員が動物病院に持ち込む事になっている。しかしながら住民が検査対象でない鳥を死骸を連絡してくる時もあり、その時は住民の為に柔軟に対応しているとの事。

鳥インフルエンザの関連予算は、検査キット等で年額80万9千円との事。

少ない予算でビックリしたが、職員のマンパワーと府民の意識の高さでカバーしているとの事。

対応されている職員の数と職種などの問いに、対応人数は2～3人で畜産課が中心で、林業職、獣医、農業関係者との事。

なぜ「農村振興課が業務にあたっているか」と聞くと、対策本部があり環境部

との連携が出来ているので、とにかく食の安全の為にやっている状況なので農村振興課が業務を受けているとの事だ。そこが沖縄県との大きな違いである。ケガなどの野鳥の回収後の収容施設の倉庫も確保しており、庁舎や駐車場なども利用し職員が対応している。

京都府は天然記念物の鳥がいないため、カンムリワシやヤンバルクイナがいる沖縄県とは違うし、傷病野鳥の取り扱いが沖縄県の方がもっと詳細な取り扱いマニュアルが必要である。

獣医との連携、市営動物園へ府からの補助（年800万円）も行っており、獣医師会への補助も行っている。

最後に、施行後の問題点などはあるかの問いに、カラス対策が重要であり、カラスが感染した場合は広域に広がる可能性がある事が懸念される。

＊京都市動物園 ■■■■■ 獣医

あくまでも傷病救護事業は京都府の事業であり、展示施設での鳥インフル対策の予算は、年700万円～800万円で委託しており、動物園の獣医4人で対応している。

具体的な動物園内の鳥インフルの防護法はどうか？ 特別な費用はないが、国内で死亡や野鳥を受け入れる場合はインフルの検査をしている。今のところ緊急性はないが、細かいネットを張り野鳥を入れないようにしている。

園内の鳥類が鳥インフルに感染した場合の対応は？ 家きん以外は対応しており、処分している。バックスペースがないが、保健福祉課も関わっており横のつながりがある。

他園との連携は取られているか？ 基本的にはないが、府のマニュアルでの対応が出来ている。

＊まとめ

過去のつらい経験から、食の安全を守る為に「野鳥における高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル（傷病野鳥の救護対応版）」を策定し、京都市動物園、福知山市動物園、京都府獣医師会、京都市獣医師会の協力を得て傷病鳥獣の救護事業に取り組んでいる。府民に徹底した意識付けを行い、府庁内の各部の連携も念密に行われている。

野鳥の飛来の生息状況調査を1週間に一度、29カ所で行っている事は早期発見に努める事が出来、実に素晴らしい。

野鳥サーベランスシステムが確立され、疑い事例発生時の府庁内連絡ルートも確立されており、対策意識が強い。

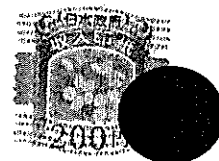
沖縄県にも渡り鳥は飛来するのでこのシステムの確立が早急である。

領 収 書

2023年5月19日

平良 昭一 様

金額	¥372,560	※
----	----------	---



但し 南洋群島慰霊と交流の旅調査視察旅費として 5/31～6/5
上記の金額正に領収いたしました。

予約 No. 671028

御注意

- ・手書きのもの並びに金額の訂正したものは無効とします。
- ・社用印、担当者印なきものは無効とします。

観光庁長官登録旅行業

株式会社 国際旅

本社

〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地

3-4-10 久茂地 YAKA2F

TEL:098-867-2121 FAX:098-861-5133

担当者印



【サイパン・テニアン視察(5/31～6/5)】 平良昭一 議員分

・5/31～1泊 東京前泊分宿泊代 22,600円 ※上限が13,100円のため、 $13,100円 \times 1/2 = 6,550円$ ・6/1～5 ホテルパック代 $248,000円 \times 1/2 = 124,000円$ $6,550円 + 124,000円 = 130,550円$ (充当額)

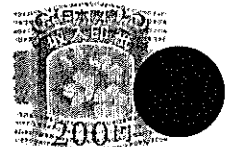
※調査研究外の日程も含まれるため、1/2充当

¥130,550-

領 収 書

2023 年 5 月 19 日

次呂久 成崇 様



金額	¥372,560	※
----	----------	---

但し 南洋群島慰霊と交流の旅調査視察旅費として 5/31～6/5
上記の金額正に領収いたしました。

予約 No. 671028

御注意

- ・手書きのもの並びに金額の訂正したものは無効とします。
- ・社用印、担当者印なきものは無効とします。

観光庁長官登録旅行業

株式会社 国際放

本社

〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地

3-4-10 久茂地 YAKA2F

TEL:098-867-2121 FAX:098-861-5133

担当者印



【サイパン・テニアン視察(5/31～6/5)】 次呂久成崇 議員分

・5/31～1泊 東京前泊分宿泊代 22,600円 ※上限が13,100円のため、 $13,100円 \times 1/2 = 6,550円$ ・6/1～5 ホテルパック代 $248,000円 \times 1/2 = 124,000円$ $6,550円 + 124,000円 = 130,550円$ (充当額)

※調査研究外の日程も含まれるため、1/2充当

¥130,550-

日程

調査研究費

日次	日付	時間	行程	食事	宿泊地
1 日目	6/1 (木)	12:00 14:00 16:30 21:25	那覇空港国内線ターミナル集合＝搭乗手続・荷物預け＝※12:45よりでいこの間にて出発式を行います。 那覇発⇒⇒《ANA468便》⇒⇒羽田空港へ【所要時間:2時間15分】 羽田着、成田空港へ移動 ※空港内にて各自ご夕食おとりください 成田発⇒⇒《ユナイテッド航空825便(UA825)》⇒⇒サイパン【所要時間:3時間35分】	機内食	サイパン
2 日目	6/2 (金)	01:50 07:00	サイパン着＝入国手続・荷物受取・税関＝～専用車にてホテルへ～ ホテルにて朝食(09:00まで) ～午前3時間/表敬訪問 (サイパン市長・在サイパン領事事務所・北マリアナ政府観光局)～ ◆現地の方々と夕食交流会(希望者のみ/料金別途)	朝食	サイパン
3 日目	6/3 (土)	朝 午前 午後 夕刻	ホテルにて朝食～専用車にて空港へ～ ●テニアン視察(詳細は13ページをご覧ください) サイパン空港⇒⇒《セスナ機》⇒⇒テニアン空港【所要時間:約15分】 テニアン空港到着 ●テニアン『沖縄の塔』慰霊の塔にて参拝。各自焼香 昼食休憩 専用車にてテニアン空港へ テニアン空港⇒⇒《セスナ機》⇒⇒サイパン空港【所要時間:約15分】 サイパン空港到着～専用車にてホテルへ～	朝食	サイパン
4 日目	6/4 (日)	07:00 午後	ホテルにて朝食 ～午前中自由行動(オプション:希望者はサイパン観光)～ 貸切バスにておきなわの塔へ(マッピー) ●サイパン『おきなわの塔』慰霊の塔にて参拝。各自焼香 おきなわの塔参拝後、貸切バスにてホテルへ(★慰霊祭終了後、自由行動)	朝食	サイパン
5 日目	6/5 (月)	早朝 07:25 09:55 14:30 17:10	～専用車にて空港へ～サイパン空港着＝搭乗手続・荷物預け・出国審査＝ サイパン発⇒⇒【ユナイテッド航空824便(UA824)】⇒⇒成田へ【所要時間:3時間35分】 成田空港着＝入国審査・荷物受取・税関＝ 羽田空港へ移動 羽田空港発⇒⇒【ANA477便】⇒⇒那覇【所要時間:2時間55分】 那覇空港着～おつかれさまでした～	機内食	
《地名》		《ホテル名》		《現地連絡先》	
サイパン島		グランヴィリオリゾートサイパン(タガタワー)		TEL:670-234-6495	

旅行主催



株式会社

観光庁長官登録旅行業第411号 JATA正会員

国際旅行社

本社/〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-4-10 久茂地YAKA2階

日本旅行業協会

旅行業公正取引
協議会 会員

TEL:098-864-5931

FAX:098-861-5133

総合旅行業務取扱管理者:
担当:

統一様式ー⑧

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年 月 日	令和5年5月31日～6月5日			
場 所	サイパン島・テニアン島			
相 手 方	ブラス・カマチョ市長・クリストファー局長・高垣了士所長・ヴラゴメス下院議長・アーノルド・パラシウス知事・デビッド・ムンド・アパタン副知事			
目 的	南洋群島・慰霊と交流の旅			
日程概要	月 日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	31(水)	19:05	全日空	羽田空港行き
		22:00	チサンホテル蒲田	宿泊
	1(木)	10:00	成田空港へ移動	貸し切りバス
		21:25	ユナイテッド航空	サイパン空港行き
	2(金)	9:00	サイパン市役所	サイパン市長表敬
		10:05	北マリアナ政府観光局	北マリアナの観光産業についての意見交換
		10:55	在サイパン領事事務所	サイパンの観光産業についての意見交換
		13:25	北マリアナ連邦議会	沖縄との人的交流についての意見交換会
		14:35	北マリアナ州庁舎	沖縄との人的交流についての意見交換会
	3(土)	7:40	サイパン空港	テニアン島行き
		11:30	テニアン沖縄の塔	参拝焼香
	4(日)	13:00	サイパンおきなわの塔	参拝焼香
	5(月)	7:25	ユナイテッド航空	成田空港行き
		11:15	羽田空港へ移動	貸し切りバス
		14:30	全日空	那覇空港行き
内容	別紙のとおり			
青果及び所見	別紙のとおり			
備考				

平良昭一

* 今回の「南洋群島・慰霊と交流の旅」意義

太平洋爆弾戦争時、日本の委任統治領だった旧南洋群島で犠牲になった沖縄県出身者を悼む「南洋群島・慰霊と交流の旅」でサイパン島・テニアン島を6月1日から5日まで、35人の遺族関係者と県議会議員7人の一行である。

私自身は4年前も参加したのですが、あの当時までは正式な組織的な慰霊祭であったが、南洋群島帰還者会メンバーの高齢化に伴い参加者が減少した事を理由に、50回目を節目に見直される事となった。

しかし帰還者会の切実な要望で、国際旅行社がその意義を受け継ぎ「南洋群島・慰霊と交流の旅」ツアーとして募集を試み、今回の運びとなった。

* サイパン市長の表敬

成田空港から21時45分発の飛行機に乗り、サイパン空港到着が現地時間の1時50分着。

入国手続きや預けた荷物を取るやらで1時間以上の時間がかかり、バスでホテル到着したのが午前4時近く。

ホテルの部屋で荷物の整理をして2時間近くの睡眠で、早朝8時半出発で県議団はサイパン市長の表敬に出発。

サイパン市長の「ブラス・カマチヨ」氏が出迎えてくれました。

今年1月に就任した前警察官の市長だ。

農業が好きで、日本へ農業を勉強した経験も持つ異色の市長でもある。

日本とは歴史的に長い繋がりがあり、日本の古い建物を保存していきたい意向を示してくれた。

サイパンは観光産業が主流で、自然が目的のリピーターをいかに獲得するかが鍵で日本人が来てほしい要望があった。

特に沖縄の方々とは戦前から強い絆で結ばれているので、是非両地域で子供たちのホームスティをさせたい意向があった。

元警察官らしく「安心安全なサイパンを目指したい」との話であり、沖縄側からするとアメリカ本国よりは安全で安心の地域である事は、プラスに展開できるのではないかと思う。

今後も両地域の交流が有効になる為の「率直な意見を言ってほしい」との切望があったことは大変嬉しかった。

これは十分実現可能な政策だと思うし努力していきたい。

*北マリアナ政府観光局表敬

サイパン市長表敬後すぐさま「北マリアナ政府観光局」へ移動し、表敬しました。

クリストファー局長との意見交換を行う事が出来た。

冒頭にわざわざ足を運んでくれた事と、毎年沖縄からの慰霊に感謝して下さり、日本・沖縄とは長い付き合いがあり、サイパンでは日本のイベントが常にあり、沖縄のイベントも是非お願いしたい旨の話があった。

観光業が中心なので、どれ位の観光客が来ているのかの質問に、コロナ前の観光客数は1997年の日本人観光客の50万人から始まり2019年のスカイマーク成田からの直行便で最大になったとの事。

その後直行便が廃止になってから下降し始め、現在では6万9千人とかなり苦しい状況になっているとの事。

やはり日本からの直行便が鍵を握っている様だ。

それでも現在は韓国と中国からの客が好調の様だ。

最後には、「沖縄も観光業が中心ですからぜひサイパンと姉妹都市提携を構築してほしい」との要望があった。

これも面白く素敵な話だと思うし、努力してみる価値はあると思う。

*在サイパン領事事務所訪問

10:55、「在サイパン領事事務所」を訪れました。

所長の [REDACTED] 氏が対応して下さった。

日本とは長い歴史があり、現在、在日本人は500人くらい住んでいて、多い時

は1000人が在住していた事もあり、サイパンの方は日本人には好意的であるとの事だ。

治安は比較的良く、所得は低く物価は高い状況であり、主要作物はロタ島やテニアン島でトウガラシやさつまいもが主流であるとの説明。

やはり観光業が主流で、日本からの直行便が重要との事。

昨年から直行便が復活したが、今は韓国からの観光客が多くなっているとの事だ。

またサイパン市長から提言のあったホームステイについては「価値がある」認識を示していた。

*北マリアナ連邦議会表敬

13:25～下院議長ヴラゴメス氏以下8名の議員が対応してくれました。

議長からは「台風のコンディションの悪い中、ありがとう」のねぎらいの言葉があり、沖縄の人が戦前・戦中、地域の方と親しかったので大歓迎であるとの言葉。

もう少し大人数で対応したかったとお詫びがあった。

議長は沖縄の慰霊の旅を知っているし、いつも家族で参加して交流を深めているとの事には感銘を受けた。

ここ数年コロナで交流が出来なかったが、今後はいろんな分野で交流を深めて

いきたい旨を表明し、今後の交流の為のアドバイスをしてくれとの要望もあった。

下院議員は、議席が20人で任期は2年との事。

この辺の話は、お互い共通の認識があり話が盛り上がったものでした。

＊北マリアナ州知事・副知事を表敬

忙しい公務の中、アーノルド・パラシウス知事・デビッド・ムンド・アパタン副知事が時間を取っていただき対応してくれた。

歓迎の言葉があり、日本統治時代は、知事・副知事の両親は日本人と交流があったらしく、今後も続けていけたら良いと言っていた。

日本との飛行機の便を、もっと便利な状況にしていく努力をしていきたい事や、サイパンには製糖工場に関する歴史的遺物などがあり、ロタ島にも日本の物がたくさん残されている事などを紹介してくれた。

短い時間だが有意義な時間であった。

＊テニアン島『沖縄の塔』で焼香

テニアン島『沖縄の塔』での慰霊の焼香を行いました。

テニアン島カロニナス台地墓苑の中にあり、南洋群島帰還社会・沖縄テニアン会

が昭和53年8月27日に建立された。

戦前テニアン島には沖縄本島県人1万5千人が住んでおり、米軍の上陸により1,937人が戦没した。

その御霊に対し、遺族関係者と共にお祈りさせていただきました。

以前と変わり、厚生労働省もDNA鑑定も可能になっている事から、いまだ完全な遺骨収集が行われていない状況等もあり、今後の課題でもあろう。

*サイパン「おきなわの塔」参拝

サイパン島マッピー、メモリアル公園内にある「おきなわの塔」にて慰霊の焼香を行いました。

旧南洋群島には戦前、在留邦人の80%を占める6万人余りの県出身者がいたといわれるが、太平洋戦争の激しい戦闘により軍人軍属と民間人あわせて1万2000人余りが戦没し、この内沖縄県出身者は約6千人を超えた。

これらの犠牲者を祀るため、沖縄がまだ米軍統治下にあった昭和43年6月、琉球政府がススベ部落内に「おきなわの塔」を建てた。

都市計画の関係で昭和49年8月に現在地に移転し、平成4年度に改修された。

管理団体は沖縄県であり、現地に委託して管理を行っている。

沖縄だけではなく、ここ南洋でも地上戦が行われ、たくさんの方々が犠牲になっ

た事を忘れてはいけなし、平和への思いを新たに祈りました。

沖縄県が現地委託して管理しているが、この慰霊塔を今後どう管理していくかは重要になってくる。

*スーサイドクリフ・バンザイクリフ

サイパン島「おきなわの塔」の背後に位置する最北端、海拔約250mのマッピ山の山頂に切立つ断崖で、美しい絶景が望める。

しかし、崖にある大小、多数のえぐれ面は米軍の砲弾による弾痕で、激しい戦争の悲惨な歴史が残る場所である。

その絶景とは裏腹に、第二次世界大戦の末期、南から攻めてきた米軍に追い詰められた多くの日本兵や民間人は、「生きて虜囚の辱目を受けず」と自決の道を選び、この断崖から飛び降りて命を絶った場所だ。

地上戦になるとどうしても民間人を巻き込んだ戦いになってしまう悲しい歴史である。

また太平洋戦争中、日本軍司令部がサイパン島北部にあり、アメリカ軍の激しい戦闘において、追い詰められた日本兵や民間人が、スーサイドクリフと同様にアメリカ兵からの投降勧告、説得に応じず、80m下の海に身を投じて自決した悲劇の断崖である。

サイパン島最北端の岬であり、バンザイクリフと呼ばれていて、多くの自決者が「天皇陛下、万歳」や「大日本帝国、万歳」と叫び、両腕を上げながら身を投じたことから、戦後この名で呼ばれるようになった。

自決者の数は1万人にのぼるとも言われていて海は血で真っ赤に染まり、死体の海と化し、死体の上に落ちたことで助かった者もいたという。

崖に沿って大小様々な供養塔、慰霊碑が建立されている。

思わず手を合わせたくなる場所である。

【南洋群島・慰霊と交流の旅】

次呂久 成崇

太平洋戦争中に移住先の太平洋の島々で犠牲になった沖縄県出身者を慰霊するため、遺族35人と県議7人で現地に出発した。

この「南洋群島・慰霊と交流の旅」は戦後、遺族たちでつくる「南洋群島帰還者会」が毎年、墓参団をつくって現地で慰霊祭を行っていたが、参加者の高齢化に伴い、「帰還者会」としての慰霊祭は4年前に終了した。だが、「帰還者会」の強い要望で昨年に続き那覇市の旅行会社が希望者を募って実施された。

サイパンやテニアンなど南洋群島と呼ばれた太平洋の島々は戦前日本が統治し、移住した沖縄出身者5万人のうち、およそ1万3000人が戦争で犠牲になったといわれている。

○サイパン市長表敬

今年1月に就任したばかりのサイパン市長：プラス・カマチヨ氏を表敬訪問した。氏の前職は警察署長で農業振興施策を重点施策として取り組んでいる。サイパンは観光産業が基幹産業だが、コロナ禍から観光産業が落ち込み、特に日本人観光客の落ち込みが大きいとのこと。

コロナ禍以前は年間最大約50万人だったが、コロナ禍後は日本からの直行便が廃線となった影響もあり約7万人にとどまっている。サイパンの観光資源は豊かな自然なので気候や風土が似た沖縄やハワイなど参考にリピーターをいかに増やしていくかということを考え政策を展開しているとのこと。

日本の歴史をはじめ、沖縄からの移住者の歴史など深く理解しており戦前に沖縄から移住してきた方々との交流を活用しながら農業や教育面での交流ができないか一緒に模索してほしいとの要望があった。

○北マリアナ政府クリストファー観光局長表敬

冒頭に毎年沖縄から慰霊のため来島していることに対し感謝のあいさつがあった。コロナ禍以前の日本からの観光客数が激減したが日本のイベントが毎年開催されていることに触れ、沖縄のイベントもサイパンで開催して欲しい、また気候や風土・観光産業が基幹産業となっている沖縄と環境及び経済構造も似ているため姉妹都市提携できないかという提言もあった。

○在サイパン領事事務所訪問

現在、サイパンには約500人の日本人が居住している。

日本とサイパンは歴史的にもつながりがあり、以前はもっと多くの日本人が住んでいたことから親日家も多い。

観光産業は現在、中国や韓国からの観光客が多いがコロナ禍以前の日本人観光客と比較するとまだ経済回復していない。

治安は安定しているが低所得物価高で市民の生活は厳しいものがある。

○北マリアナ連邦議会表敬

グラゴメス下院議長外8名の議員が対応。各議員ともサイパンと沖縄の歴史をはじめ、これまで継続していた慰霊の旅の子とも把握していた。コロナ禍で途絶えていた文化・教育交流をはじめさまざまな分野で交流をしていきたいという積極的な意見も提案された。

○北マリアナ州知事・副知事表敬

アーノルド・パラシウス州知事とデビッド・ムンド・アパタン副知事が対応し、日本統治下時代の歴史や交流にふれサイパンの歴史や製糖工場など日本や沖縄との深い繋がりについて丁寧説明と紹介があった。

○テニアン島「沖縄の塔」及びサイパン島「おきなわの塔」慰霊祭

テニアン島には戦前に約15,000人の沖縄県人が住んでいたが米軍上陸により約2千人が戦没した。「沖縄の塔」は、南洋群島帰還者会沖縄テニアン会により1978年8月に建立された。

サイパン島の「おきなわの塔」は、1968年6月に当時米軍統治下にあった琉球政府が建立した。

太平洋戦争で旧南洋群島では軍人軍属と民間人あわせて12,000人が犠牲となっており、いまだに遺骨収集が行われていない状況にある。

「おきなわの塔」の管理団体は沖縄県で現地に委託し管理を行っているがテニアン島の「沖縄の塔」同様に今後の管理体制をどうするかが課題である。

また、「おきなわの塔」の背後にはスーサイドクリフ・マンザイクリフがあり、多くの日本兵や民間人がこの岸壁が飛び降り自害した歴史がある。自決者は約10,000人とも言われるが戦争は、民間人を巻き込む悲惨なものでしかないとあらためて感じた。今回の慰霊の旅の経験を多くの人に伝え、沖縄県の平和施策に活用していきたい。

日程

調査研究費

日次	日付	時間	行程	食事	宿泊地
1 日目	6/1 (木)	12:00 14:00 16:30 21:25	那覇空港国内線ターミナル集合＝搭乗手続・荷物預け＝※12:45よりでいごの間にて出発式を行います。 那覇発⇒⇒＜ANA468便＞⇒⇒羽田空港へ【所要時間：2時間15分】 羽田着、成田空港へ移動 ※空港内にて各自ご夕食おとりください 成田発⇒⇒＜ユナイテッド航空825便(UA825)＞⇒⇒サイパン【所要時間：3時間35分】	機内食	サイパン
2 日目	6/2 (金)	01:50 07:00	サイパン着＝入国手続・荷物受取・税関＝～専用車にてホテルへ～ ホテルにて朝食(09:00まで) ～午前3時間／表敬訪問 (サイパン市長・在サイパン領事事務所・北マリアナ政府観光局)～ ◆現地の方々との夕食交流会(希望者のみ/料金別途)	朝食	サイパン
3 日目	6/3 (土)	朝 午前 午後 夕刻	ホテルにて朝食～専用車にて空港へ～ ●テニアン視察(詳細は13ページをご覧ください) サイパン空港⇒⇒＜セスナ機＞⇒⇒テニアン空港【所要時間：約15分】 テニアン空港到着 ●テニアン『沖縄の塔』慰霊の塔にて参拝。各自焼香 昼食休憩 専用車にてテニアン空港へ テニアン空港⇒⇒＜セスナ機＞⇒⇒サイパン空港【所要時間：約15分】 サイパン空港到着～専用車にてホテルへ～	朝食	サイパン
4 日目	6/4 (日)	07:00 午後	ホテルにて朝食 ～午前中自由行動(オプション：希望者はサイパン観光)～ 貸切バスにておきなわの塔へ(マッピー) ●サイパン『おきなわの塔』慰霊の塔にて参拝。各自焼香 おきなわの塔参拝後、貸切バスにてホテルへ(★慰霊祭終了後、自由行動)	朝食	サイパン
5 日目	6/5 (月)	早朝 07:25 09:55 14:30 17:10	～専用車にて空港へ～サイパン空港着＝搭乗手続・荷物預け・出国審査＝ サイパン発⇒⇒【ユナイテッド航空824便(UA824)】⇒⇒成田へ【所要時間：3時間35分】 成田空港着＝入国審査・荷物受取・税関＝ 羽田空港へ移動 羽田空港発⇒⇒【ANA477便】⇒⇒那覇【所要時間：2時間55分】 那覇空港着～おつかれさまでした～	機内食	
《地名》		《ホテル名》		《現地連絡先》	
サイパン島		グランヴィリオリゾートサイパン(タガタワー)		TEL: 670-234-6495	

旅行主権

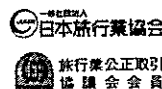


株式会社

観光庁長官登録旅行業第411号 JATA正会員

国際旅行社

本社/〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-4-10 久茂地YAKA2階



TEL: 098-864-5931

FAX: 098-861-5133

総合旅行業務取扱管理者
担当

統一様式-⑧

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年 月 日	令和5年5月31日～6月5日			
場 所	サイパン島・テニアン島			
相 手 方	ブラス・カマチョ市長・クリストファー局長・高垣了士所長・ヴラゴメス下院議長・アーノルド・パラシウス知事・デビッド・ムンド・アパタン副知事			
目 的	南洋群島・慰霊と交流の旅			
日程概要	月日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	31(水)	19:05	全日空	羽田空港行き
		22:00	チサンホテル蒲田	宿泊
	1(木)	10:00	成田空港へ移動	貸し切りバス
		21:25	ユナイテッド航空	サイパン空港行き
	2(金)	9:00	サイパン市役所	サイパン市長表敬
		10:05	北マリアナ政府観光局	北マリアナの観光産業についての意見交換
		10:55	在サイパン領事事務所	サイパンの観光産業についての意見交換
		13:25	北マリアナ連邦議会	沖縄との人的交流についての意見交換会
		14:35	北マリアナ州庁舎	沖縄との人的交流についての意見交換会
	3(土)	7:40	サイパン空港	テニアン島行き
		11:30	テニアン沖縄の塔	参拝焼香
	4(日)	13:00	サイパンおきなわの塔	参拝焼香
	5(月)	7:25	ユナイテッド航空	成田空港行き
		11:15	羽田空港へ移動	貸し切りバス
		14:30	全日空	那覇空港行き
内容	別紙のとおり			
青果及び所見	別紙のとおり			
備考				

平良 昭一

* 今回の「南洋群島・慰霊と交流の旅」意義

太平洋爆弾戦争時、日本の委任統治領だった旧南洋群島で犠牲になった沖縄県出身者を悼む「南洋群島・慰霊と交流の旅」でサイパン島・テニアン島を6月1日から5日まで、35人の遺族関係者と県議会議員7人の一行である。

私自身は4年前も参加したのですが、あの当時までは正式な組織的な慰霊祭であつたが、南洋群島帰還者会メンバーの高齢化に伴い参加者が減少した事を理由に、50回目を節目に見直される事となった。

しかし帰還者会の切実な要望で、国際旅行社がその意義を受け継ぎ「南洋群島・慰霊と交流の旅」ツアーとして募集を試み、今回の運びとなった。

* サイパン市長の表敬

成田空港から21時45分発の飛行機に乗り、サイパン空港到着が現地時間の1時50分着。

入国手続きや預けた荷物を取るやらで1時間以上の時間がかかり、バスでホテル到着したのが午前4時近く。

ホテルの部屋で荷物の整理をして2時間近くの睡眠で、早朝8時半出発で県議団はサイパン市長の表敬に出発。

サイパン市長の「ブラス・カマチヨ」氏が出迎えてくれました。

今年1月に就任した前警察官の市長だ。

農業が好きで、日本へ農業を勉強した経験も持つ異色の市長でもある。

日本とは歴史的に長い繋がりがあり、日本の古い建物を保存していきたい意向を示してくれた。

サイパンは観光産業が主流で、自然が目的のリピーターをいかに獲得するかが鍵で日本人が来てほしい要望があった。

特に沖縄の方々とは戦前から強い絆で結ばれているので、是非両地域で子供たちのホームステイをさせたい意向があった。

元警察官らしく「安心安全なサイパンを目指したい」との話であり、沖縄側からするとアメリカ本国よりは安全で安心の地域である事は、プラスに展開できるのではないかと思う。

今後も両地域の交流が有効になる為の「率直な意見を言ってほしい」との切望があったことは大変嬉しかった。

これは十分実現可能な政策だと思うし努力していきたい。

*北マリアナ政府観光局表敬

サイパン市長表敬後すぐさま「北マリアナ政府観光局」へ移動し、表敬しました。

クリストファー局長との意見交換を行う事が出来た。

冒頭にわざわざ足を運んでくれた事と、毎年沖縄からの慰霊に感謝して下さり、日本・沖縄とは長い付き合いがあり、サイパンでは日本のイベントが常になり、沖縄のイベントも是非お願いしたい旨の話があった。

観光業が中心なので、どれ位の観光客が来ているのかの質問に、コロナ前の観光客数は1997年の日本人観光客の50万人から始まり2019年のスカイマーク成田からの直行便で最大になったとの事。

その後直行便が廃止になってから下降し始め、現在では6万9千人とかなり苦しい状況になっているとの事。

やはり日本からの直行便が鍵を握っている様だ。

それでも現在は韓国と中国からの客が好調の様だ。

最後には、「沖縄も観光業が中心ですからぜひサイパンと姉妹都市提携を構築してほしい」との要望があった。

これも面白く素敵な話だと思うし、努力してみる価値はあると思う。

*在サイパン領事事務所訪問

10:55、「在サイパン領事事務所」を訪れました。

所長の [REDACTED] 氏が対応して下さった。

日本とは長い歴史があり、現在、在日本人は500人くらい住んでいて、多い時

は1000人が在住していた事もあり、サイパンの方は日本人には好意的であるとの事だ。

治安は比較的良く、所得は低く物価は高い状況であり、主要作物はロタ島やテニアン島でトウガラシやさつまいもが主流であるとの説明。

やはり観光業が主流で、日本からの直行便が重要との事。

昨年から直行便が復活したが、今は韓国からの観光客が多くなっているとの事だ。

またサイパン市長から提言のあったホームステイについては「価値がある」認識を示していた。

*北マリアナ連邦議会表敬

13:25～下院議長ヴラゴメス氏以下8名の議員が対応してくれました。

議長からは「台風のコンディションの悪い中、ありがとう」のねぎらいの言葉があり、沖縄の人が戦前・戦中、地域の方と親しかったので大歓迎であるとの言葉。もう少し大人数で対応したかったとお詫びがあった。

議長は沖縄の慰霊の旅を知っているし、いつも家族で参加して交流を深めているとの事には感銘を受けた。

ここ数年コロナで交流が出来なかったが、今後はいろんな分野で交流を深めて

いきたい旨を表明し、今後の交流の為のアドバイスをしてくれとの要望もあった。

下院議員は、議席が20人で任期は2年との事。

この辺の話は、お互い共通の認識があり話が盛り上がったものでした。

＊北マリアナ州知事・副知事を表敬

忙しい公務の中、アーノルド・パラシウス知事・デビッド・ムンド・アパタン副知事が時間を取っていただき対応してくれた。

歓迎の言葉があり、日本統治時代は、知事・副知事の両親は日本人と交流があったらしく、今後も続けていけたら良いと言っていた。

日本との飛行機の便を、もっと便利な状況にしていく努力をしていきたい事や、サイパンには製糖工場に関する歴史的遺物などがあり、ロタ島にも日本の物がたくさん残されている事などを紹介してくれた。

短い時間だが有意義な時間であった。

＊テニアン島『沖縄の塔』で焼香

テニアン島『沖縄の塔』での慰霊の焼香を行いました。

テニアン島カロニナス台地墓苑の中にあり、南洋群島帰還社会・沖縄テニアン会

が昭和53年8月27日に建立された。

戦前テニアン島には沖縄本島県人1万5千人が住んでおり、米軍の上陸により
1,937人が戦没した。

その御霊に対し、遺族関係者と共にお祈りさせていただきました。

以前と変わり、厚生労働省もDNA鑑定も可能になっている事から、いまだ完全
な遺骨収集が行われていない状況等もあり、今後の課題でもあろう。

*サイパン「おきなわの塔」参拝

サイパン島マッピー、メモリアル公園内にある「おきなわの塔」にて慰霊の焼香
を行いました。

旧南洋群島には戦前、在留邦人の80%を占める6万人余りの県出身者がいた
といわれるが、太平洋戦争の激しい戦闘により軍人軍属と民間人あわせて1万
2000人余りが戦没し、この内沖縄県出身者は約6千人を超えた。

これらの犠牲者を祀るため、沖縄がまだ米軍統治下にあった昭和43年6月、琉
球政府がススぺ部落内に「おきなわの塔」を建てた。

都市計画の関係で昭和49年8月に現在地に移転し、平成4年度に改修された。

管理団体は沖縄県であり、現地に委託して管理を行っている。

沖縄だけではなく、ここ南洋でも地上戦が行われ、たくさんの方々が犠牲になっ

た事を忘れてはいけないし、平和への思いを新たに祈りました。

沖縄県が現地委託して管理しているが、この慰霊塔を今後どう管理していくかは重要になってくる。

*スーサイドクリフ・バンザイクリフ

サイパン島「おきなわの塔」の背後に位置する最北端、海拔約250mのマッピ山の山頂に切立つ断崖で、美しい絶景が望める。

しかし、崖にある大小、多数のえぐれ面は米軍の砲弾による弾痕で、激しい戦争の悲惨な歴史が残る場所である。

その絶景とは裏腹に、第二次世界大戦の末期、南から攻めてきた米軍に追い詰められた多くの日本兵や民間人は、「生きて虜囚の辱目を受けず」と自決の道を選び、この断崖から飛び降りて命を絶った場所だ。

地上戦になるとどうしても民間人を巻き込んだ戦いになってしまう悲しい歴史である。

また太平洋戦争中、日本軍司令部がサイパン島北部にあり、アメリカ軍の激しい戦闘において、追い詰められた日本兵や民間人が、スーサイドクリフと同様にアメリカ兵からの投降勧告、説得に応じず、80m下の海に身を投じて自決した悲劇の断崖である。

サイパン島最北端の岬であり、バンザイクリフと呼ばれていて、多くの自決者が「天皇陛下、万歳」や「大日本帝国、万歳」と叫び、両腕を上げながら身を投じたことから、戦後この名で呼ばれるようになった。

自決者の数は1万人にのぼるとも言われていて海は血で真っ赤に染まり、死体の海と化し、死体の上に落ちたことで助かった者もいたという。

崖に沿って大小様々な供養塔、慰霊碑が建立されている。

思わず手を合わせたくなる場所である。

【南洋群島・慰霊と交流の旅】

次呂久 成崇

太平洋戦争中に移住先の太平洋の島々で犠牲になった沖縄県出身者を慰霊するため、遺族35人と県議7人で現地に出発した。

この「南洋群島・慰霊と交流の旅」は戦後、遺族たちでつくる「南洋群島帰還者会」が毎年、墓参団をつくって現地で慰霊祭を行っていたが、参加者の高齢化に伴い、「帰還者会」としての慰霊祭は4年前に終了した。だが、「帰還者会」の強い要望で昨年に続き那覇市の旅行会社が希望者を募って実施された。

サイパンやテニアンなど南洋群島と呼ばれた太平洋の島々は戦前日本が統治し、移住した沖縄出身者5万人のうち、およそ1万3000人が戦争で犠牲になったといわれている。

○サイパン市長表敬

今年1月に就任したばかりのサイパン市長：ブラス・カマチョ氏を表敬訪問した。氏の前職は警察署長で農業振興施策を重点施策として取り組んでいる。サイパンは観光産業が基幹産業だが、コロナ禍から観光産業が落ち込み、特に日本人観光客の落ち込みが大きいとのこと。

コロナ禍以前は年間最大約50万人だったが、コロナ禍後は日本からの直行便が廃線となった影響もあり約7万人にとどまっている。サイパンの観光資源は豊かな自然なので気候や風土が似た沖縄やハワイなど参考にリピーターをいかに増やしていくかということを考え政策を展開しているとのこと。

日本の歴史をはじめ、沖縄からの移住者の歴史など深く理解しており戦前に沖縄から移住してきた方々との交流を活用しながら農業や教育面での交流ができないか一緒に模索してほしいとの要望があった。

○北マリアナ政府クリストファー観光局長表敬

冒頭に毎年沖縄から慰霊のため来島していることに對し感謝のあいさつがあった。コロナ禍以前の日本からの観光客数が激減したが日本のイベントが毎年開催されていることに触れ、沖縄のイベントもサイパンで開催して欲しい、また気候や風土・観光産業が基幹産業となっている沖縄と環境及び経済構造も似ているため姉妹都市提携できないかという提言もあった。

○在サイパン領事事務所訪問

現在、サイパンには約500人の日本人が居住している。

日本とサイパンは歴史的にもつながりがあり、以前はもっと多くの日本人が住んでいたことから親日家も多い。

観光産業は現在、中国や韓国からの観光客が多いがコロナ禍以前の日本人観光客と比較するとまだ経済回復していない。

治安は安定しているが低所得物価高で市民の生活は厳しいものがある。

○北マリアナ連邦議会表敬

ブラゴメス下院議長外8名の議員が対応。各議員ともサイパンと沖縄の歴史をはじめ、これまで継続していた慰霊の旅の子とも把握していた。

コロナ禍で途絶えていた文化・教育交流をはじめさまざまな分野で交流をしていきたいという積極的な意見も提案された。

○北マリアナ州知事・副知事表敬

アーノルド・パラシウス州知事とデビッド・ムンド・アパタン副知事が対応し、日本統治下時代の歴史や交流にふれサイパンの歴史や製糖工場など日本や沖縄との深い繋がりについて丁寧説明と紹介があった。

○テニアン島「沖縄の塔」及びサイパン島「おきなわの塔」慰霊祭

テニアン島には戦前に約15,000人の沖縄県人が住んでいたが米軍上陸により約2千人が戦没した。「沖縄の塔」は、南洋群島帰還者会沖縄テニアン会により1978年8月に建立された。

サイパン島の「おきなわの塔」は、1968年6月に当時米軍統治下にあった琉球政府が建立した。

太平洋戦争で旧南洋群島では軍人軍属と民間人あわせて12,000人が犠牲となっており、いまだに遺骨収集が行われていない状況にある。

「おきなわの塔」の管理団体は沖縄県で現地に委託し管理を行っているがテニアン島の「沖縄の塔」同様に今後の管理体制をどうするかが課題である。

また、「おきなわの塔」の背後にはスーサイドクリフ・マンザイクリフがあり、多くの日本兵や民間人がこの岸壁が飛び降り自害した歴史がある。自決者は約10,000人とも言われるが戦争は、民間人を巻き込む悲惨なものでしかないとあらためて感じた。今回の慰霊の旅の経験を多くの人に伝え、沖縄県の平和施策に活用していきたい。

領収書は別添

【沖縄県議会与党県議団県内視察(宮古島市)】

- ・レンタカー代金(2日間)
- ・ガソリン代1
- ・ガソリン代2
- ・市民集会横断幕印刷代
- ・市民集会会場使用料

※調査研究に係る費用。別添按分表のとおり4/24充当

¥10,078-

沖縄県議会与党県議団県内視察等行動共通経費案分表

【宮古島市分】

NO	会派 摘要	金額	案分額					案分差額
			ていーだ平和 (8/24)	共産党 (7/24)	おきなわ南風 (4/24)	立憲おきなわ (4/24)	無所属 (1/24)	
1	レンタカー代金 (2日間)	40,480	13,493	11,807	6,747	6,747	1,686	0
2	ガソリン代 1	4,337	1,446	1,265	723	723	180	0
3	ガソリン代 1	3,764	1,255	1,098	627	627	157	0
4	市民集会横幕印刷代	3,900	1,300	1,138	650	650	162	0
5	市民集会会場使用料	7,986	2,662	2,329	1,331	1,331	333	0
	計	60,467	20,156	17,637	10,078	10,078	2,518	0



4

領收証

て、一に平和を其他3会派当山、王原様

No. _____

金額

7	3	9	0	0
---	---	---	---	---

收入

紙 印

内 訳

現金

小切手

手形

消費稅額等(%)

但 糖 第 印刷 代 212

5年6月8日 上記正に領収いたしました

沖繩県宮古島市平良字西里98

エム・テッ

代表者 狩 俣 政

TEL • FAX (0980) 73-6

係印

5

宮古島市 納入通知書・領収証書

ていだ平和ネット他3会派・当山勝利・上原快
佐 様

令和 5年 6月 6日

座喜味 一幸

(歳入)

納付書番号	008907
-------	--------

納入者氏名

てい一だ平和ネット他3会派・当山勝利・上原快
佐 様

摘要

大研修室6/10(13:30~16:30)7,986円

所屬	010703：港灣課
----	------------

年度	令和5年度
----	-------

固定番号 0008507-0001

會計	003：港灣事業特別會計
----	--------------

区域划分	现年
------	----

納付期限

令和 5年 7月31日

金額

7,986 3

上記の金額を領収しました。

宮古島市会計管理者

※ 右記の金額を納付期限までに納付してください。

※ 納入取り扱い金融機関は、裏面をご覧ください。

※切り取らないでお出ください。

※この領収証書は5年間大切に保管してください。

(本人保管)

領出納付印
5. 7. 5
琉球銀行
県庁出張所
5



領収書は別添

【沖縄県議会与党県議団県内視察(与那国・石垣市)】

- ・レンタカー代金(与那国)
- ・ガソリン代(与那国)
- ・川原公民館使用料
- ・複合型公共施設使用料
- ・ガソリン代1(石垣市)
- ・ガソリン代2(石垣市)
- ・ガソリン代3(石垣市)
- ・宿泊代(二人分)与那国前日入り
- ・航空運賃(1人分)与那国前日入り

※調査研究に係る費用。別添按分表のとおり4/24充当

¥8,023-

沖縄県議会与党県議団県内視察等行動共通経費案分表

【与那国町・石垣市分】

NO	会派 摘要	金額	案分額					案分差額	
			ていーだ平和 (8/24)	共産党 (7/24)	おきなわ南風 (4/24)	立憲おきなわ (4/24)	無所属 (1/24)		
1	レンタカー代金 (与那国)	11,000	3,667	3,208	1,833	1,833	459	0	
2	ガソリン代 (与那国)	1,000	333	292	167	167	41	0	
3	川原公民館使用料	3,000	1,000	875	500	500	125	0	
4	複合型公共施設使用料	3,000	1,000	875	500	500	125	0	
5	ガソリン代 1 (石垣市)	3,271	1,090	954	545	545	137	0	
6	ガソリン代 2 (石垣市)	3,630	1,210	1,059	605	605	150	1	
7	ガソリン代 3 (石垣市)	1,915	638	559	319	319	80	0	
8	宿泊代 (2人分) 与那国前日入り	10,000	3,333	2,917	1,667	1,667	416	0	
9	航空運賃 (1人分) 与那国前日入り	11,320	3,773	3,302	1,887	1,887	471	0	
	計	48,136	16,044	14,041	8,023	8,023	2,004	1	

①

領 収 証

ていだ平和ネット他3会派
当山 勝利・上原快佐様

5年6月9日

貸 渡 料 金	11000
燃 料 代 金	
合 計 金 額	¥ 11,000-

印
紙

但しレンタカー代金として
上記の金額正に領収致しました。

米浜レンタカー

代表者 米 浜 凡 平

〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町字与那国

TEL (0980) **87-2148**

日本最西端 国境のレンタカー

②

領 収 証

No. _____

ていだ平和ネット他3会派
当山 勝利・上原快佐様

令和 5 年 6 月 9 日

金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
				1	1	0	0	0

内 訳	
現 金	✓
クレジット	

但しガソリン代金として

上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

与那国町字与那国46番

電話 (0980) 87-2148

米浜石油株式会社

登録番号T2-3600-0101-3343

係
印

③

領 収 証		てい-だ平和ネット他3会派 当山勝利・上原快佐 様		No. _____	
金額	¥ 3,000-				
内 訳	但せ-だ利用料として				
現金	R5年6月10日 上記正に領収いたしました				
小切手					
手 形	山原公民館館長				
消費税額等(%)	木 井 拓				

④

領 収 証		No. _____	
てい-だ平和ネット他3会派 当山勝利・上原快佐 様		令和5年6月9日	

★ ¥ 3,000-

但し与那国町複合型公共施設利用料として
上記正に領収いたしました (会務室)

内 訳	
税抜金額	
消費税額等(%)	

〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町与那
一般社団法人 与那国町観光

TEL(0980)87-2402/FAX(0980)87-2110

⑤

領 収 証

No 588285

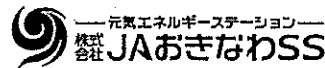
令和 5 年 6 月 10 日

ていだ平和ネット他3会派, 当山勝利, 上原快佐様

★ 4 3,271

但し 燃費料代として

上記正に領収いたしました。



〒907-0001 沖縄県石垣市字大
株式会社 JAおきなわSS
TEL:0980-83-2970

現 金		受領者名
口座振込		
小 切 手		

⑥

領 収 証

No. _____

令和 5 年 6 月 9 日

ていだ平和ネット他3会派
当山勝利, 上原快佐殿

与那国町字与那国 4822-260
(株) 与那国
TEL. 098
FAX. 098
祖納給油所
TEL 098

品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
ガソリン	17.88 l	203	3630	
軽 油	l			
灯 油	l			
A 重 油	l			
合 計			¥ 3630	取扱者印

上記の通り領収致しました。

電話 番号 T1-3600-0101-3511

⑦

領 収 証

No. _____

ていーだ平和ネット他3会派
当山勝利・上原快佐様

R 5 年 6 月 1 日

★ ¥ 1.915 —

但 燃料代として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

八重山石油株式会社
真栄里給油
石垣市真栄里488-1
電話 (0980)83-2988

⑧

領 収 証

ていーだ平和ネット他3会派
当山勝利・上原快佐様

No. _____

★ ¥ 10000 —

内 訳

現金

小切手

手形

消費税 (10%)

消費税 (8%)

内税額計

登録番号

2023 年 6 月 7 日

上記正に領収いたしました

収入印紙

民宿 さきはら社

TEL・FAX (0980)7-2976

⑨

 		領収書 RECEIPT	1006213121
下記の金額正に領収致しました。			
RECEIVED FROM (カード平和ネット他3会派・岡山県・山形県)			
THE SUM OF		¥ 11,320 - (税込)	
		(TAX INCLD.)	
但し運賃・料金として IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT			
航空券番号 TICKET NUMBER	1312467938647		
関連航空券番号 OTHERS	*****		
発券日 DATE OF ISSUE	2023年06月05日		
備考 REMARKS	クレジット (MC)	¥11,320	
発行：日本航空株式会社 I S G P T		2023年06月18日	

印紙税中寄納
村につき品川
税務署承認済

随行職員航空運賃

統一様式－⑧

視察調査報告書

沢呂久成崇

経費区分	視察調査費			
年 月 日	令和5年6月8日（木）～6月10日（土）			
場 所	与那国町複合型公共施設会議室、川原公民館			
相 手 方	○与那国町民（10人）及び石垣市民（25人）			
目 的	本県が直面している重要課題について調査・研究を行う。			
日程概要	月 日（曜日）	時 間	場 所	内 容
			別紙のとおり	
内 容	・地対空誘導弾パトリオット（PAC3）の配備状況について ・与那国町民及び石垣市民との意見交換会 ※PAC3配備・国民保護計画と空港滑走路延伸及び港湾整備について 石垣駐屯地排水問題とシェルター建設について			
成果及び所見	【成果及び所見】 国民保護計画に伴い地元住民が知らないまま町長が単独で政府関係機関に与那国空港滑走路延伸や比川地区の港湾整備、地対空誘導弾パトリオット（PAC3）を常時配備して欲しいなど議会及び住民不在のまま要請が行われていることに強い不信感と不安を感じている声が寄せられた。 また、台湾有事ありきで連日マスコミもPAC3配備や住民避難計画など報道し続けているが台湾でそのような危機感はない。対話による外交を県議会でも積極的に推進してほしい。 南西シフトで自衛隊が石垣島にも配備された。沖縄は本土防衛のための盾になってはならない。シェルターを作れば良いというのは安易な考えである。 石垣駐屯地からの処理水流出については、我々の使う水道用水、農業用水にも影響が出そうで不安だ。県議会でも調査・研究し議論して頂きたい。 与那国町及び石垣市の住民の皆さんとの意見交換では上記のような意見が多く出た。県執行部及び県議会での取組みなど県政報告も兼ね、地域の課題についても共有できた。引き続きこのような意見交換の機会をつくり、調査・研究及び政策提言に活用していきたい。			
備 考	レンタカーの手配及び施設借用手続き、沖縄本島と石垣島からそれぞれ離発着する飛行機の時間・便との日程調整のため前日に移動する必要があった。			

領収書は別添

【沖縄県議会与党県議団県内視察(うるま市・沖縄市)】

- ・ガソリン代
- ・横断幕代
- ・コピー代
- ・かりゆし園会場費
- ・運転手謝礼

※調査研究に係る費用。別添按分表のとおり4/24充当

¥4,596-

沖縄県議会与党県議団県内視察等行動共通経費案分表

【うるま市・沖縄市分】 仲村末央

NO	会派 摘要	金額	案分額					案分差額
			ていーだ平和 (8/24)	共産党 (7/24)	おきなわ南風 (4/24)	立憲おきなわ (4/24)	無所属 (1/24)	
1	ガソリン代	2,775	925	809	463	463	115	0
2	横断幕代	6,600	2,200	1,925	1,100	1,100	275	0
3	コピー代	1,700	567	496	283	283	71	0
4	かりゆし園会場費	11,500	3,833	3,354	1,917	1,917	479	0
5	運転手謝礼	5,000	1,667	1,458	833	833	209	0
	計	27,575	9,192	8,042	4,596	4,596	1,149	0

①

毎度ありがとうございます

KANTYA株式会社 神谷石油

糸内 古瀬 (令貢山又瀬)

株式会社 神谷石油
豊川サービスステーション
知多県知多市豊川249番地
TEL: 098-939-5062

SS-01601

2023年06月17日 17:26 伝票No. 4959
通番0600

カイン様
4-01601-193374 車番
お買上 現金会員

13001	軽油 外P01	¥2075
数量	17.78(L)	
単価	¥116.7	
会員値引	04	-71
軽油税	¥32.1	¥571

消費税10%(対象) ¥2004 ¥200

合計 ¥2,775

約 15,725 5千:225 3千:225

担当: 1585-1585 01 2023/06/18

軽油税には消費税はかかりません
上記にて領収書にさせていただきます

2

領 取 証

機

令和5年6月14日

金額

9	6	6	0	0
---	---	---	---	---

131

幕の代金として

取：入

印：紅

上記の通り正に領収致しました。

プラスチック電照看板・テント看板
横断幕・壁面看板・浮文字看板
車輻看板・スクリーン印刷・その他

繩 沖

沖繩市美里五丁
TEL (098) 93
FAX (098) 92

領收一証

卷之五

價

R. 5 年 6 月 17 日 正記正人領収した金額

内 訳

[illegible]

消費税額(額)

様式第2号(第3条関係)

④

令和5年6月7日

沖縄市老人福祉センター利用許可書

・ 沖縄市老人福祉センターかりゆし園
TEL (098) 938-1250 FAX (098) 938-2562

・ 沖縄市老人福祉センター寿楽園
TEL (098) 933-5645 FAX (098) 933-0846

NPO 法人 友志企画（沖縄市老人福祉センター指定管理者）

次のとおり利用を許可します。

利 用 者 (団 体)		住 所				
		氏 名	ていだ平和ネット他3会巡、 当山勝利、上原快佐		電 話	
かりゆし園 寿楽園	☒ ホール ☐ 教養娯楽室 ☐ 栄養指導室 ☐ 昼間	利 用 日 時	令和5年6月17日16時から		小 計	
	令和5年6月17日21時まで		〒 11500			
	利用者数		100人	冷房	16～21	
	令和 年 月 日 時から		〒			
	令和 年 月 日 時まで					
	利用者数		人	冷房	～	
	令和 年 月 日 時から		〒			
	令和 年 月 日 時まで					
	利用者数		人	冷房	～	
	令和 年 月 日 時から		〒			
	令和 年 月 日 時まで					
	利用者数		人	冷房	～	
利用目的		集会				

領 収 証

ていだ平和ネット他3会巡、
当山勝利、上原快佐 様

NO06-22

担当

〒

11500

但し、施設利用料として正に

備考

⑤

領 収 書	
ていーだ平和ネット他3会派、当山勝利、上原快佐 様	
領収金額	5,000 円
但し 運転手謝礼として	
2023 年 6 月 17 日	
上記正に領収いたしました。	



「沖縄を戦場にさせない」与党県議団県内視察等行動日程

1. 目的

安保 3 文書に基づき政府が急速に進める南西諸島への軍備強化の矛盾と危険性を明らかにするとともに、外交と対話による平和の構築の重要性を県民と共有してその役割を積極的に果たすよう日本政府に求める県民運動に繋げる。

2. 視察地域と日程

(1) 令和 5 年 6 月 9 日（金）～10 日（土）

① 石垣市、与那国町

（9 日）

那覇市 → 与那国町（視察・意見交換） → 石垣市（街頭演説・意見交換等） → 石垣市泊

（10 日）

石垣市（視察・街頭演説・市民集会等） → 那覇市

② 宮古島市

（9 日）

那覇市 → 宮古島市（市長表敬・視察・意見交換等）

（10 日）

宮古島市（視察・街頭演説・市民集会等） → 那覇市

(2) 令和 5 年 6 月 17 日（土）

① うるま市、沖縄市

うるま市（視察・街頭演説） → 沖縄市（視察・街頭演説）
→ （市民集会）

「沖縄を戦場にさせない」与党県議団県内視察等行動日程

【うるま市・沖縄市】

6月17日（土）

14：00-14：30 陸自勝連分屯地ミサイル基地視察

14：30-15：00 近くで街頭演説①

15：30-16：00 街頭演説②（具志川メインシティ前）

16：20-16：30 陸自沖縄訓練場弾薬庫予定地（沖縄市池原）

17：00-17：30 近くで街頭演説③（沖縄北インター周辺）

18：00-19：00 県議団&うるま・沖縄市民との意見交換会
（会場）農民研修センター・ホール

終了、必要なら記者会見

統一様式－①

經費區分別支出一覽表

經費区分	要請陳情等活動費
------	----------

[illegible]

■ご利用便の領収書



SKYMARK AIRLINES

TZ5QQL
2023年4月21日/21APR2023

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

平良 昭一

様

金額
THE SUM OF

¥ 17,410 -

税込み
TAX INCLUDED

但し、旅客運賃・料金として上記の金額を正に受領いたしました。
The above amount was received with thanks as a travel fare/fee.

お支払い方法
PAYMENT METHOD

現金・クレジットカード・その他お支払いを含みます。
Includes payments by cash, credit cards, and others.

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
This is an electronic display of receipt data.

スカイマーク株式会社
Skymark Airlines Inc.

明細書
DETAILS

■お客様情報 / Passenger Information

お名前	年齢	性別
TAIRA SHOUICHI	61	男

■ご旅程 / Itinerary

日付	便名	出発地	到着地	運賃/手数料/その他	収受金額
2023/04/26	SKY517	羽田 12:50	那覇 15:35	いま得	17,410円
				合計金額	17,410円

【東京要請(4/24~4/26) 復路航空券代】

・平良昭一 議員

※要請陳情、調査研究に係る旅費のため、全額充当

¥17,410-

統一様式一⑧

視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年 月 日	令和5年4月24日（月）～26日（水）			
場 所	東京都			
相 手 方	＊防衛省 木村防衛大臣政務官 ＊内閣官房 出口内閣審議官 ＊外務省 吉川外務政務官			
目 的	沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書の手交			
日程概要	月 日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	4月24日（月）	15:00	防衛省	木村防衛大臣政務官へ意見書を手交
		17:00	参議院議員会館	各党国会議員との意見交換会
		19:00	赤坂アーバンホテル	宿泊
	4月25日（火）	16:50	内閣官房	出口内閣官審議官へ意見書を手交
		17:50	外務省	吉川外務大臣政務官へ意見書を手交
		19:00	東横イン品川駅高輪口	宿泊
内容	別紙のとおり			
成果及び所見	別紙のとおり			
備 考				

沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書（別紙）

* 防衛省 木村防衛大臣政務官

意見書の内容は理解できるものだが、厳しい安全保障環境や安全保障関連3文書の考え方について沖縄県民に丁寧に説明していく事が重要と考えていると述べた。また「南西諸島へのミサイル配備は決定しているのか。」「配備は確定ではないですよ」の問いに「今の所は決定ではない。」との回答。

「今般の自衛隊の宮古島の事故が陸上で起きてしまわないか不安である。」との問いに「現在事故原因を調査中である」との返答であった。

* 各党国会議員との意見交換会

・立憲民主党 福山議員

沖縄の状況はよく理解している。デニー知事の行脚も理解しており、沖縄の課題を一緒に解決しようと話した。

・国民民主党 古川議員

意見書の思いはしっかり受け止める。中国の軍事力の増強で沖縄を再び戦場にしてはいけない。対話の外交が大事であり同じ気持ちだ。

・国民民主党 長友議員

沖縄北方委員会で丁寧な説明が住民にされていない事実があり、今後、図上訓練を質疑したいと思う。

・日本共産党 田村議員

大賛成である。先週の金曜日参考人招致があった。中国もアメリカも本気で戦争をしようなんて思っていない。

有事になれば沖縄が標的になる。平和憲法を持つ日本の責任は大きい。尖閣諸島の件も対話で解決していかないといけない。

・社会民主党 大椿議員

沖縄を再び戦場になってしまうことを危惧している。日本政府が対話の外交を行う事には大賛同である。

台湾有事が一般国民にも浸透しており、防衛費増額を仕方ないと思っている方もいる事に驚きを隠せない。

・れいわ新選組 大島議員

鳩山先生と宮古島にアジア航空大学校を作れないか研究している最中である。

PFOS 問題にも関心があり、伊波先生と共に頑張っている。

・赤嶺政賢議員

県議会の決議は全国的にも注目されている。軍事ではなく平和外交で解決すべきであると報道されている。憲法審査会で沖縄の思いを伝えている。

・新垣邦男議員

県議会の決議は重い。沖縄県民の思いそのものである。一緒に頑張って行きましょう。

・平良

琉球王国時代から中国、東アジアとの経済・人的交流の歴史がある。

沖縄県も今年4月から地域外交室を設置して対話で解決する動きが始まるし、沖縄だからできる外交があるはずだ。その辺を「国の方からバックアップしてほしい。」と要望した。

*内閣官房 出口内閣審議官

今回の要請は上に伝える。沖縄を戦場にしてはいけない意見書の趣旨は当然の事であるが、安定的な関係を構築の為に南西地域の防衛力強化は重要と説明。基地負担軽減を目指す、沖縄の皆さんにご迷惑をかけているが、諸外国の軍備増

強に合わせる必要があると話した。

県議から南西諸島の不安を解消する為に意見書を採択した。防衛力強化だけであり平和外交の姿勢が見えないので、しっかり国民に見せてほしいとの要望があった。また「南西地域へのミサイル攻撃とはどこの国の事か」の問いに「特定はできない」との返事。

（
* 外務省 吉川外務政務官

県議会の意見書の内容について「沖縄を再び戦場にしてはならないということは当然のことだ。防衛力で沖縄を含むわが国に脅威が及ぶことを抑止していく。防衛力は外交の裏付けになる」と話した。

また「日本の政治家が台湾に外交することは、日中共同声明・日中平和友好条約・日中共同宣言に反しないか」との問いに、あくまでも個人的だがと前置きし「政治家としてそれは積極的に行うべきだ」との見解を示した。
（

いずれにせよ、県民の負担軽減に向け努力することを明言。

要 請 日 程

「沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書」の手交

令和5年4月24日（月）～25日（火）

月日	時間		所要	内 容	備 考
	開始	終了			
4/24 (月)	8:35			県議会ロビー集合	議会バス ANA994
	8:45	9:00	(15)	移動（県議会 → 那覇空港）	
	10:05	12:25	(140)	移動（那覇空港 → 羽田空港）	借上バス
	13:45	14:45	(60)	移動（羽田 → 新宿区市谷本村町）	
	15:00	15:15	(15)	防衛省 防衛大臣政務官 木村 次郎 様 頭撮り可 (移 動 15:15 ～ 15:55)	防衛省市ヶ谷地区 (A棟11F 第一省議室) 借上バス ホテル チェックイン
	16:30			ホテルロビー集合 (移 動 16:35 ～ 16:50)	借上バス
4/25 (火)	17:00	18:00	(60)	各党国会議員との意見交換会 (移 動 18:00 ～ 18:15) ホテル着	参議院議員会館 (B1 B103会議室) 借上バス
	16:15			11:00までにホテルをチェックアウトください。 ホテルロビー集合 (移 動 16:20 ～ 16:35)	借上バス
	16:50	17:05	(15)	内閣官房 内閣官房副長官補付内閣審議官 出口 和宏 様 (移 動 17:05 ～ 17:25)	内閣官房 (内閣府本府 5F521会議室) 借上バス
	17:45	17:55	(10)	外務省 外務大臣政務官 吉川 ゆうみ 様 頭撮り可	外務省 (国際会議室 272号室)
	18:00	18:10	(10)	～ 囲み取材（外務省にて）～	外務省1F 中央玄関付近
	18:10	18:55	(45)	移動（霞ヶ関 → 羽田空港） 夕食（羽田空港内）	借上バス
4/25 (火)	20:00	22:40	(160)	移動（羽田空港 → 那覇空港） 解散（那覇空港）	ANA479

【内容】

「沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書」の手交

【隨行】

沖縄県議会事務局政務調査課 ※本期間中のみ有効)

【要讀先】

1 内閣総理大臣 2 外務大臣 3 防衛大臣 4 内閣官房長官

【宿泊】

赤坂アーバンホテル TEL : 03-5561-3500 FAX : 03-5561-3501
〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-2

【借上バス】

さがみエンジニアリング(株) TEL : 03-3395-6627 FAX : 03-3395-3162

運轉士：

要 請 議 員 団 名 簿

令和5年4月24日（月）～25日（火）

沖 縄 県 議 会

団 長	とうやま	かつとし	
	当 山	勝 利	(ていーだ平和ネット)
団 員	とぐち	おさむ	
	渡久地	修	(日本共産党沖縄県議会議員団)
〃	うえはら	かいざ	
	上 原	快 佐	(無 所 属)

同行議員	やまざと	まさお	
	山 里	将 雄	(ていーだ平和ネット)
〃	にしめ	すみえ	
	西 銘	純 恵	(日本共産党沖縄県議会議員団)
〃	くになか	まさじ	
	國 仲	昌 二	(立 憲 お き な わ)
〃	きゆうな	ともこ	
	喜友名	智 子	(立 憲 お き な わ)
〃	たいら	しょういち	
	平 良	昭 一	(お き な わ 南 風)

※ 同行議員の旅費は政務活動費と充当